



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東名

上場会社名 名糖産業株式会社  
コード番号 2207 URL <http://www.meito-sangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小島 寛志  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼経理部長 (氏名) 山崎 潔

TEL 052-521-7111

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	9,659	8.2	△48	—	260	—	335	—
27年3月期第2四半期	8,929	6.7	△557	—	△272	—	△97	—

(注)包括利益 28年3月期第2四半期 292百万円 (△81.4%) 27年3月期第2四半期 1,575百万円 (30.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	19.92	19.84
27年3月期第2四半期	△5.79	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	51,917	38,649	74.2
27年3月期	51,972	38,701	74.2

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 38,521百万円 27年3月期 38,564百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	22.00	22.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,500	2.1	100	—	500	122.7	500	671.0	29.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	21,265,000 株	27年3月期	21,265,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	4,439,832 株	27年3月期	4,464,375 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	16,815,061 株	27年3月期2Q	16,798,394 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原油など資源価格が下がるなかで個人消費が底堅く推移し、企業収益が改善して、景気の緩やかな回復基調が続きました。しかし、中国や新興国の景気減速が世界経済にも影響を及ぼして、景気の先行きへの不透明感が強まりました。

当社グループの中核事業の一つである菓子・食品の市場におきましては、食品の品質や安全性に対する消費者意識がますます高まる一方で、原材料コストが企業収益を圧迫して、厳しい事業環境が続きました。

こうした情勢のもと、当社グループは、商品の安全性確保と品質の向上に引き続き注力するとともに、お客様に満足いただける高付加価値商品の提供ならびに積極的な販売促進活動により、売上規模の拡大と収益力の向上に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べて8.2%増の9,659百万円となりました。営業損益につきましては、売上規模の拡大と事業活動の効率化などにより収益性は改善しましたが、原材料費の負担や数理計算上の差異に伴う退職給付費用の一時的な増加などにより、48百万円の損失となりました。前年同期は557百万円の営業損失でありました。また、経常利益は、営業損益の改善に加え営業外収益も増加して260百万円となりました。前年同期は272百万円の経常損失でありました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、特別利益に投資有価証券売却益122百万円を計上しました結果、335百万円となりました。前年同期は97百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失でありました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### 食品事業

当第2四半期連結累計期間におきましては、主力の菓子部門は各種の新商品を投入して販売促進活動を展開しましたところ、売上が好調に推移して増収となりました。チョコレート類は、主力ブランドの「アルファベットチョコレート」、「ナッツチョコレートコレクション」などのファミリータイプの商品や受託商品などが売上を伸ばして、増収となりました。キャンディ類は受託商品の売上が伸びて増収となりました。

粉末飲料部門は、主力商品の「レモンティー」などが堅調に推移するなか、「香り高いミルクココア」や「牛乳DEココア」などのココア類が伸長して増収となりました。

主として九州地区で製造・販売している冷菓部門は、自社商品、受託商品ともに好調に推移して増収となりました。

そのほか、連結子会社の株式会社エースペーカーは、積極的な営業施策を展開しました結果、主力のパウムクーヘン類が堅調に推移するなかでゼリー類が伸長して、増収となりました。

これらの結果、食品事業の売上高は前年同期に比べ8.5%増の8,420百万円となりました。営業利益につきましては、原材料コストなどが利益の圧迫要因となりましたが、売上の拡大が奏功し154百万円となりました。前年同期は293百万円の営業損失でありました。

#### 化成品事業

酵素部門につきましては、海外を主な市場としており、国外企業との販売競争が激化しておりますが、円安の追い風を受けるなかでグローバルな営業活動を展開しました結果、チーズ用凝乳酵素「レンネット」、脂肪分解酵素「リパーゼ」がともに好調に推移して、増収となりました。

また、薬品部門につきましても、医薬品、X線フィルムなどの原料用の「デキストラン」などが順調に売上を伸ばして、増収となりました。

これらの結果、化成品事業の売上高は前年同期に比べ8.0%増の1,094百万円となりました。営業利益につきましては、売上の増加などにより79百万円となりました。前年同期は31百万円の営業損失でありました。

#### 不動産事業

不動産事業につきましては、賃貸物件のうち一部の契約が昨年6月で終了したことなどにより、売上高は前年同期に比べ5.5%減の143百万円となり、営業利益は前年同期に比べ9.3%減の53百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ201百万円増加し、8,976百万円となりました。これは、原材料及び貯蔵品が516百万円増加したことや、受取手形及び売掛金が226百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ257百万円減少し、42,940百万円となりました。これは、有形固定資産のその他に含まれる機械装置及び運搬具が126百万円減少したことや、建物及び構築物が116百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ55百万円減少し、51,917百万円となりました。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ121百万円増加し、4,755百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が377百万円増加したことや、1年内返済予定の長期借入金が190百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ125百万円減少し、8,512百万円となりました。これは、長期借入金が87百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ3百万円減少し、13,267百万円となりました。

### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ52百万円減少し、38,649百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が85百万円減少したことなどによります。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ45百万円増加し、1,851百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、前年同期に比べ156百万円減少し、665百万円となりました。資金の主な増加要因は、減価償却費558百万円および税金等調整前四半期純利益383百万円であり、主な減少要因は、たな卸資産の増加額572百万円であります。投資活動の結果得られた資金は、5百万円となりました。資金の主な増加要因は、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入596百万円であり、主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出247百万円および有価証券及び投資有価証券の取得による支出200百万円であります。なお、前年同四半期連結累計期間の投資活動の結果は330百万円の資金の減少でありました。また、財政活動の結果使用した資金は、前年同期に比べ305百万円減少し、626百万円となりました。資金の主な減少要因は、長期借入金の返済による支出277百万円、配当金の支払額367百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの業績は、食品事業の出荷が秋季から冬季に膨らむ傾向が強く、例年、上半期の業績は下半期に比べ相対的に低い水準となる傾向が強いこともあり、当第2四半期累計期間は、概ね当初の想定した範囲内で推移しております。現時点では通期の連結業績予想につきまして、平成27年5月14日に公表いたしました数値を修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)および「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,815	1,761
受取手形及び売掛金	3,954	3,728
有価証券	649	549
商品及び製品	958	926
仕掛品	393	481
原材料及び貯蔵品	829	1,346
その他	196	205
貸倒引当金	△21	△22
流動資産合計	8,775	8,976
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,489	4,372
その他(純額)	6,530	6,407
有形固定資産合計	11,019	10,780
無形固定資産		
	66	68
投資その他の資産		
投資有価証券	31,997	31,854
その他	191	316
貸倒引当金	△78	△78
投資その他の資産合計	32,110	32,091
固定資産合計	43,197	42,940
資産合計	51,972	51,917

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,093	2,471
1年内返済予定の長期借入金	369	179
未払法人税等	34	35
返品調整引当金	7	4
その他	2,127	2,064
流動負債合計	4,633	4,755
固定負債		
長期借入金	637	549
繰延税金負債	5,219	5,215
役員退職慰労引当金	16	18
退職給付に係る負債	2,445	2,468
その他	318	259
固定負債合計	8,637	8,512
負債合計	13,271	13,267
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,313	1,313
資本剰余金	76	76
利益剰余金	32,790	32,743
自己株式	△8,541	△8,494
株主資本合計	25,638	25,638
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,011	12,926
退職給付に係る調整累計額	△86	△43
その他の包括利益累計額合計	12,925	12,883
新株予約権	137	127
純資産合計	38,701	38,649
負債純資産合計	51,972	51,917



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	8,929	9,659
売上原価	6,668	6,738
売上総利益	2,261	2,920
販売費及び一般管理費		
販売促進費	973	1,066
給料手当及び賞与	724	724
退職給付費用	41	82
役員退職慰労引当金繰入額	1	1
貸倒引当金繰入額	20	2
減価償却費	31	30
その他	1,026	1,062
販売費及び一般管理費合計	2,819	2,969
営業損失(△)	△557	△48
営業外収益		
受取利息	9	6
受取配当金	248	294
有価証券売却益	3	-
持分法による投資利益	16	17
その他	38	10
営業外収益合計	316	328
営業外費用		
支払利息	11	7
固定資産除売却損	16	11
その他	3	0
営業外費用合計	31	19
経常利益又は経常損失(△)	△272	260
特別利益		
投資有価証券売却益	-	122
新株予約権戻入益	112	-
特別利益合計	112	122
特別損失		
製品回収廃棄損	23	-
特別損失合計	23	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△183	383
法人税、住民税及び事業税	4	62
法人税等調整額	△90	△14
法人税等合計	△85	48
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△97	335
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△97	335

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△97	335
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,680	△85
退職給付に係る調整額	△7	43
その他の包括利益合計	1,673	△42
四半期包括利益	1,575	292
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,575	292

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△183	383
減価償却費	622	558
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1	87
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1	1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	17	0
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△3	△122
有形固定資産除売却損益(△は益)	16	11
受取利息及び受取配当金	△257	△300
支払利息	11	7
持分法による投資損益(△は益)	△16	△17
売上債権の増減額(△は増加)	654	226
たな卸資産の増減額(△は増加)	△413	△572
仕入債務の増減額(△は減少)	406	377
その他	△283	△210
小計	572	429
利息及び配当金の受取額	259	304
利息の支払額	△11	△7
法人税等の支払額	1	△60
営業活動によるキャッシュ・フロー	822	665
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△552	△200
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	608	596
定期預金の払戻による収入	13	-
有形固定資産の取得による支出	△395	△247
その他	△4	△143
投資活動によるキャッシュ・フロー	△330	5
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△200	20
長期借入金の返済による支出	△457	△277
自己株式の取得による支出	△4	△0
自己株式の売却による収入	-	34
配当金の支払額	△334	△367
その他	64	△35
財務活動によるキャッシュ・フロー	△931	△626
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△439	45
現金及び現金同等物の期首残高	2,230	1,805
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,790	1,851

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,763	1,014	151	8,929	—	8,929
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,763	1,014	151	8,929	—	8,929
セグメント利益又は損失(△)	△293	△31	59	△265	△291	△557

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,420	1,094	143	9,659	—	9,659
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,420	1,094	143	9,659	—	9,659
セグメント利益	154	79	53	287	△336	△48

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(別紙)

名糖産業株式会社

平成28年3月期第2四半期決算参考資料

(金額単位：百万円、百万円未満切捨)

1. 第2四半期連結累計期間(中間期)の実績推移  
(連結)

	23/9月	24/9月	25/9月	26/9月	27/9月
売上高	9,626	8,524	8,366	8,929	9,659
営業利益	△ 22	△ 422	△ 464	△ 557	△ 48
経常利益	259	△ 166	17	△ 272	260
親会社株主に帰属する 四半期純利益	36	△ 348	5	△ 97	335

2. 通期の実績推移と業績予想  
(連結)

	24/3期	25/3期	26/3期	27/3期	28/3期予想
売上高	21,069	19,216	19,302	20,080	20,500
営業利益	126	△192	△545	△ 292	100
経常利益	624	31	129	224	500
親会社株主に帰属する 当期純利益	377	47	△261	64	500

3. 事業別売上高予想  
(連結)

	28/3期予想	増減率	27/3期
食品	18,000	1.9%	17,664
化成品	2,200	3.6%	2,123
不動産	300	2.5%	292
合計	20,500	2.1%	20,080

4. 営業外損益の内訳(実績)  
(連結)

	第2四半期連結累計期間		通期
	27/9月	26/9月	27/3期
<b>営業外収益</b>	328	316	577
受取利息及び配当金	300	257	423
持分法による投資利益	17	16	66
その他の営業外収益	10	41	88
<b>営業外費用</b>	19	31	60
支払利息	7	11	21
その他の営業外費用	11	20	39